



第2回学生応援フードパントリー調布 実施報告

学生応援フードパントリー調布実行委員会

1.はじめに

2020年10月14日(水)に第1回学生応援フードパントリー調布を実施いたしました。多くの方のご支援のもと、約80名の大学生・専門学生へ食支援を行うことができました。また、参加学生からの声を直接聞き、継続的な支援の必要性を感じました。この度、第2回を実施することができましたのでここに報告いたします。

2.主催

学生応援フードパントリー調布実行委員会

3.協力

社会福祉法人調布市社会福祉協議会 早大校友会調布稲門会
慶應校友調布三田会、昭和女子大学黒谷研究室、調布市子ども食堂ネットワーク
活ろうアースカフェ、電気通信大学生生活協同組合

4.開催日時

2021年2月6日(土) 13:00-17:00
2月6日に受け取れない場合は2月8日(月)に対応

5.場所

調布市社会福祉協議会(調布市総合福祉センター2階201・202会議室)

6.対象条件と募集人数

次の①または②に該当する学生 先着50名
① 調布市に所在地のある大学または専門学校の学生
② 調布市に住んでいて、調布市以外に所在地のある大学または専門学校に通っている学生

7.参加者数

53名(12校)
*寄付を沢山いただいたため、追加募集をしました。

8.参加者募集および寄付の呼びかけ

調布市市報ちょうふ、調布経済新聞、調布市民放送局
地域関連各所(地区協議会、自治会など)へ声がけ
市民活動支援センター及びボランティアコーナーでの食品回収BOX設置
Twitter、Facebook、インスタグラムなどのソーシャルメディア
学生応援フードパントリー調布のTwitter、インスタグラムのアカウントを開設



9. 配布食品のコンセプトと1人分の配布イメージ

寄付金で購入した食品キットと寄付された食品をセットにして提供しました。食品キットは、「栄養バランス」「食べやすさ」「学生の嗜好」をコンセプトに、昭和女子大学生生活科学部黒谷研究室が監修のもと、エネルギー、栄養価バランスを計算して、3日分を配布しました。また、配布した食品を使った食べ方が書かれたパンフレットも同時に渡し、インスタグラムにも掲載しました。

こんにちは！
昭和女子大学健康科学部黒谷研究室の
学生応援フードパントリー@調布の食料キットは簡単で
メニューを豊富にします。参考にしてください！
食材の分量や作り方の詳細は和仁のInstagram
@black_valley に掲載しています。裏面のQRコードから
フォローしてください！
△牛乳、卵、調味料類は各自の準備をお願いします！

Day 2

朝食 447kcal ・卵焼き (170kcal相当)
・リンゴ ①湯水に顆粒のほう
じゆんを練りこ
み！

昼食 674kcal ・ビーフステーキ
・じゃがいも ①お肉は1cm厚にスライスして
・リンゴ ②油を熱し、油を
③一口大に切ったじゃがいも、牛肉の和菜、
1kgを加え、煮込む。
→揚げたてがおいしいので完成！

夕食 737kcal ・ツナとわかめ和風炒め
・カブラスoup 作り方
①たけのこ、キャベツ、ゆでたまご、
②しょうゆ、しょうがを加える。
③ゆでたまごを加える。
1kgの量を2kgに
あげるとgood！ 裏面にレシピあり

Day 3

朝食 547kcal
・りんご
・バナナ
・バナナとチョコレートチップ

昼食 597kcal
・たまごとキャベツの炒め物
・じゃがいも
・カブラスoup

夕食 585kcal
・ビーフステーキ (Day2昼食と同じ)
・りんご

パン食にどうせ！
無印良品 1kgバナナ 457kcal
福神漬 2kgバナナ 407kcal

お持ち帰り...
無印良品 7kgお豆腐のパック 4kg分まで
出汁 1kgバナナ 2kg 紅茶パック 3kg分まで
4kg 紫のバナナ 5kg 宇治抹茶パック

読んでくださってありがとうございます！
和仁のInstagramアカウントは「黒谷研究室」です。ぜひフォローしてください！
別紙に「朝食にツナ」のレシピも掲載しています。
これも和仁の「作成レシピ」朝食を食べる
毎日元気に頑張ってください！

Instagram Followはこちら！
黒谷研究室と学生応援フードパントリーのアカウント

BLACK VALLEY GAKUSEOUENCHOFU

今日、黒谷研究室から料理のレシピ、今後の
フードパントリーの情報を掲載します！
紹介していただきありがとうございます。料理の写真もストーリーに
載せてください！ 毎日お返事させていただきます

最後は黒谷研究室のInstagramアカウントのQRコードです。
昭和女子大学 生活科学部 健康科学部 黒谷研究室

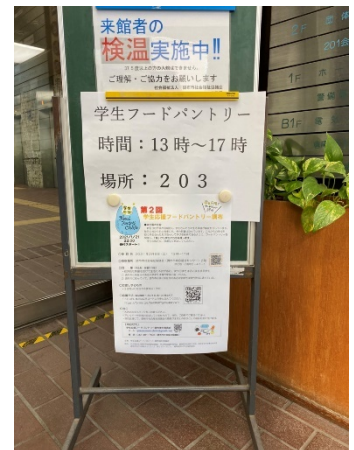
食べ方が書かれたパンフレット



1人分の配布イメージ

10.当日の様子

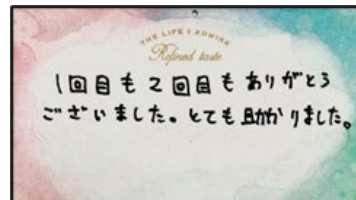
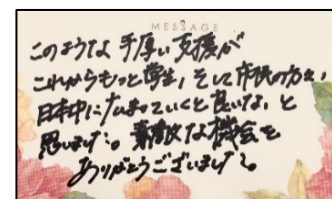
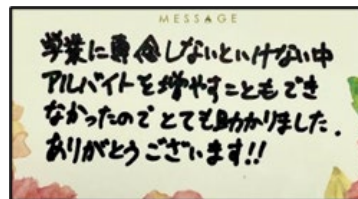
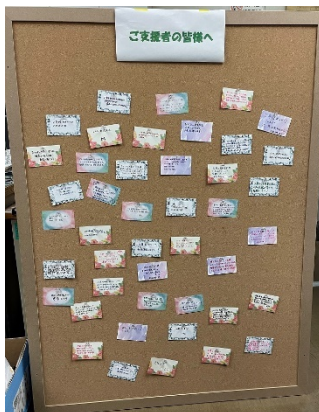
お渡しした食品などは前日に仕分け作業を行い、袋詰めをした状態で当日を迎えました。参加者の皆様には検温など感染対策にご協力いただき、できるだけ短時間の滞在になるよう努めました。一人分の配布内容は写真のとおりですが、大きな袋で2袋分の量となり、渡された皆さんはあまりの多さに驚かれていました。なお、電気通信大学石垣陽先生から室内の換気状態をモニタリングするセンサーと可視化用のタブレットをご提供いただき、環境管理に利用しました。





11. 参加者からの御礼の言葉

参加された学生さんより、こころ温かいお礼のコメントをたくさん頂きました。その一部をご紹介します。



- たくさんの支援ありがとうございました。このもらったものへの恩返しができるように勉強をたくさん頑張ります！
- 1人暮らしで家族にも会えず過ごしている中で、人の温かさを感じることができて嬉しかった。
- アルバイトが全くできず、困っていたためとても助かりました。

12. 寄付者一覧

早大校友会調布稲門会（有志）、語ろうアースカフェ講座参加者、調布粕江桜友会
東京慈恵会医科大学 JANP センター、木村屋總本店、マガジンハウス社
松葉茶屋、フードバンク調布、農家の方、個人の方 など（敬称略）

13. 今後の展開

本支援を継続していくために、任意団体「調布健康支援プロジェクト実行委員会」を立ち上げました。現在、2021年6月頃に第3回が実施できるよう準備を進めています。今後ともご支援の程、宜しく願いいたします。

2021年4月20日